

ヒロハドジョウツナギ

Glyceria leptolepis Ohwi

イネ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内の分布はごく限られ、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

ドジョウツナギ類では最も壮大な種で、高さ80から50cm、稈は太く、径4～10mm。葉は厚みがありかたく、幅5～14mm。葉舌はごく低く革質。

国内分布

北海道～九州。

県内分布

外浦区(志賀町富来地区、輪島市三井町)、内浦区(穴水町)。分布域は奥能登の内陸部の比較的狭い範囲に集中する。

生態など

水辺に群生する多年草。花期は7～8月。

生育環境

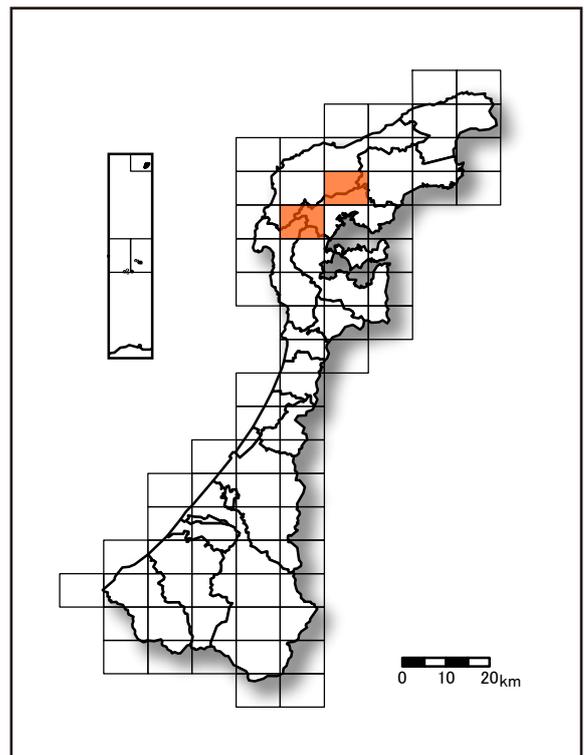
池沼の縁や河川、水路などの水湿地。

危険要因

河川開発、土地造成、管理放棄、自然遷移。



林 二良・2007年8月16日・内浦



県内の分布